

充電設備導入のための セミナー

令和6年度第3回

東京都環境局気候変動対策部家庭エネルギー対策課
株式会社レクシード

令和6年12月23日

次第

- 1:充電設備導入にあたっての基礎知識
- 2:検討段階のポイント
- 3:導入段階のポイント
- 4:運用段階のポイント
- 5:よくある質問

5つのテーマに分けてご説明いたします。
各テーマの説明が終了しましたら、質疑応答の時間を設けます。

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

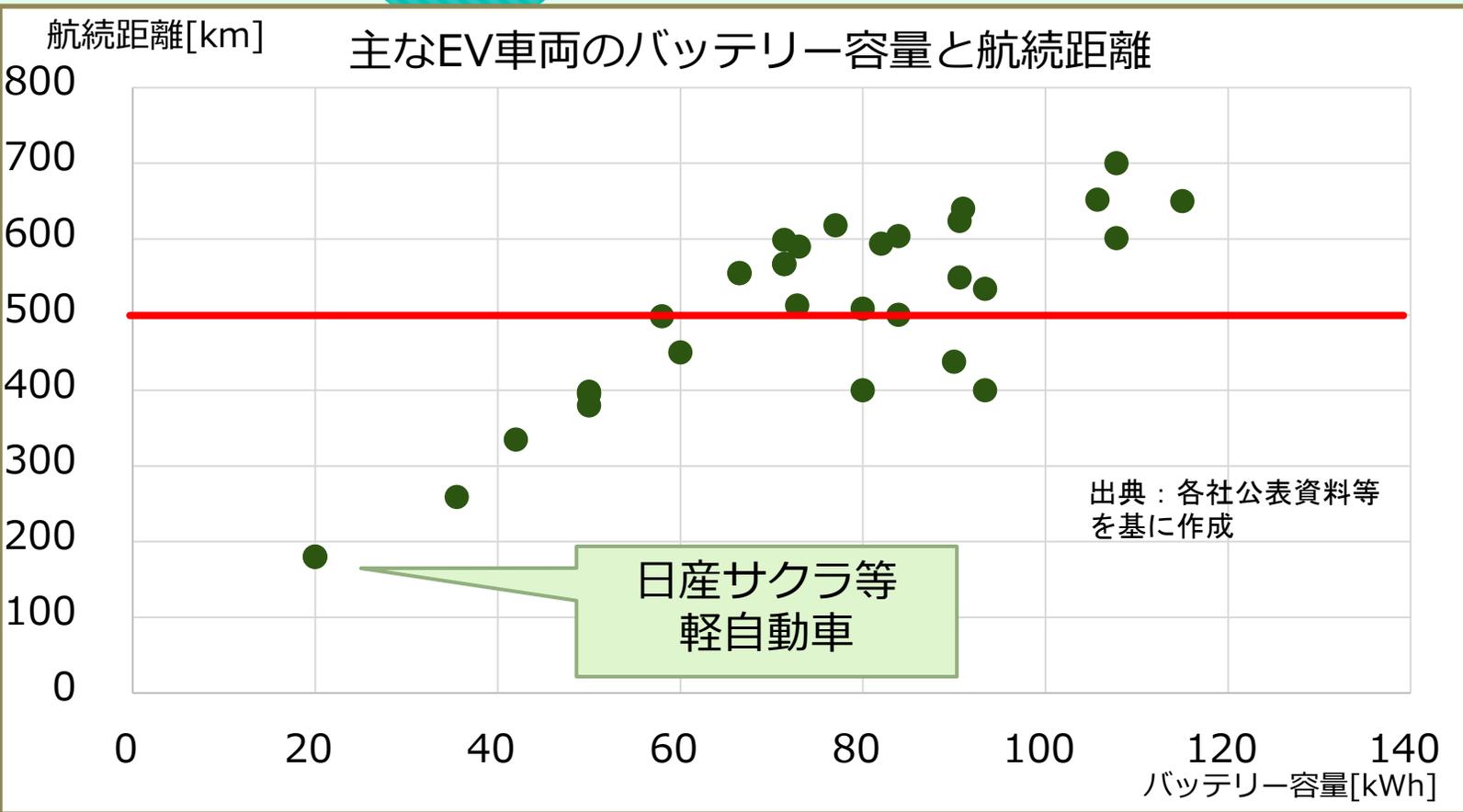
1では充電設備導入にあたっての基礎知識をご紹介します。充電設備を取り巻く最新の状況をEV自動車の動向やEV充電設備に対する行政の政策等様々な角度からご説明いたします。

EV充電器を取り巻く環境についてゼロから理解を深めていただくことが可能です。

理事会等でEV充電設備の設置を提案する際の検討材料としてもご利用いただけます。

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

EVの航続距離



多くの車種がフル充電で

500km程度走行可能

➡500km≒東京～大阪の距離



EVであっても電欠の
心配は少ない！

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

国内自動車メーカーのEV計画

トヨタ自動車株式会社	<ul style="list-style-type: none">2026年までに新型EV10車種を市場投入、年間販売台数100万台目標2030年までにEV関連に5兆円を投資
本田技研工業株式会社	<ul style="list-style-type: none">2040年までにEV・FCEV販売比率をグローバルで100%EV主力モデル「Honda 0 シリーズ」を2030年までに7車種市場投入電動化・ソフトウェア領域に2030年までに10兆円投資
日産自動車株式会社	<ul style="list-style-type: none">2026年度までに、グローバルで電動車16車種を市場投入2030年度までに、2兆円を投資、グローバルで電動車27車種を市場投入
マツダ株式会社	<ul style="list-style-type: none">2028年~2030年 BEV専用車の本格導入2030年のグローバルにおけるEV比率の想定を25~40%
三菱自動車工業株式会社	<ul style="list-style-type: none">2023年から5年間にわたりグローバルで電動車9車種を市場投入2035年度電動車販売比率100%を目指す

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

国と東京都の政策目標

【ZEVの普及目標】 ※ZEV (Zero Emission Vehicle) =EV、PHV、FCV

- ▶2035年までに乗用車新車販売で**電動車100%** (国)
- ▶2030年までに乗用車新車販売**100%非ガソリン化**、
都内乗用新車販売台数に占める**ZEV割合50%** (東京都)

【充電設備の普及目標】

- ▶2030年までに**充電インフラ30万口**(公共用急速充電設備3万口含む)
を整備。うち、**集合住宅**や月極駐車場等で**10~20万口** (国)
- ▶2030年に**都内集合住宅**にZEV充電設備を**6万口**設置 (東京都)

1 : 充電設備導入にあたっての基礎知識

EVの充電場所

	基礎充電	経路充電	目的地充電
想定運用方法	拠点となる場所で充電	休憩中に継ぎ足し充電	停まっている間に充電
対象施設	<ul style="list-style-type: none">・戸建住宅・マンション・事業所 等	<ul style="list-style-type: none">・コンビニ・高速道路SA/PA・自動車ディーラー 等	<ul style="list-style-type: none">・商業施設、店舗・宿泊施設・従業員駐車場 等
滞在時間	長い	短い	様々
充電設備	普通充電設備	急速充電設備	普通充電設備 /急速充電設備

▶住宅等での充電は基礎充電に該当

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

自宅設置のメリット

1 寝ている間に充電可能

▶ 実質待ち時間「0」

2 給油のためだけの外出は不要

▶ 移動の時間や手間を大幅に削減

3 充電（維持）費用が安い

▶ 時間帯別料金や太陽光の利用で更にお得に

維持費用の試算例：年間1万km走行した場合

試算例	電費又は燃費	利用料金・単価	充電料金
自宅充電	電費6.0km/kWh	31円/kWh <small>(全国家庭電気製品公正取引協議会の公表情報参照)</small>	51,666円
ガソリン	燃費15.0km/L	レギュラーガソリン 175円/L <small>(資源エネルギー庁 給油所小売価格調査)</small>	116,666円

1：充電設備導入にあたっての基礎知識

災害時のメリット

4 災害時等の対応力の強化

▶ V2H等を使用して、**EVを蓄電池**として利用可能

▶ **災害時の非常用電源**として活用

▶ V2Xを用いて災害時にEVを**動力用電源**として使用し、**エレベーターや給水ポンプ**などを稼働させる取組も加速

※V2H (Vehicle to Home) = EVの電池に充電された電気を住宅で利用したり、太陽光発電システムでの発電電気をEVに充電したりするためのシステム

- 電気自動車からの給電で停電時のエレベーター継続利用を可能とするV2Xシステムを販売開始
(2023年7月18日 (株)日立ビルシステム)

https://www.hbs.co.jp/news/2023/20230718_01.html

- 軽電気自動車「日産サクラ」からの給電でマンション向け自動給水ユニットの稼働を実証
(2023年10月12日 (株)日立ビルシステム、日産自動車(株)、(株)日立産機システム)

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/10/1012a.html>

質疑応答

(1 : 充電設備導入にあたっての基礎知識)

これより質疑応答を開始します。

会場にてご参加の皆様でご質問事項がございましたら挙手にてお知らせください。

オンラインにてご参加の皆様でご質問事項がございましたらチャットにてご質問ください。

2：検討段階のポイント

2では充電設備導入にあたって検討段階でのポイントをご紹介します。

設置に向けて検討が必要な事項とポイントを網羅的にまとめています。

充電設備のスムーズな導入にあたっては検討段階でいかに合意形成を図れるかがカギとなります。合意形成に向けたポイントをつかんでいただければと思います。

2：検討段階のポイント

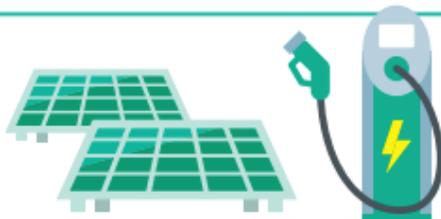
EV充電設備設置の大きな流れ

～マンションにおける助成金の活用例～

step 01

充電設備設置前の調査をする

調査費への助成



step 02

充電設備を設置する

充電設備普及促進事業(集合住宅向け)で助成



step 03

充電設備を運用する

電気料金への助成



2：検討段階のポイント

検討のフロー（モデルケース）

②検討段階

発意・きっかけ

調査・基本計画立案・事業者声掛け

合意形成

事業者選定

総会決議

1. 発意・きっかけ

- ・ 居住者からの要望
- ・ 理事会内での意見・要望
- ・ 管理会社・コンサルからの提案

2. 調査・基本計画立案・充電サービス事業者声掛け

- ・ これからお話する、5W1Hを事前に話し合っておく。
- ・ 決められないところは**マンションアドバイザー派遣（無料）**や、**導入調査経費補助**等の都の支援を活用して検討を深める。
- ・ 検討主体は、理事会や委員会で行うことが一般的。

3. 合意形成

- ・ ある程度、理事会や委員会で案ができたなら、説明会や意見交換会、アンケートを実施して、総意を確認。

4. 事業者選定

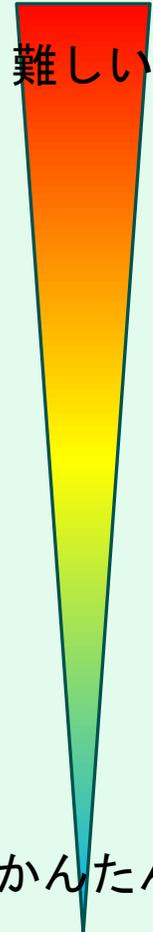
- ・ 設置や運用の希望が近い事業者に依頼
- ・ 複数の事業者から見積書の提出やヒアリングを受け、1社もしくは複数社に依頼

5. 総会決議

- ・ 東京都、国の補助金を利用することやEV充電設備を導入することと、運用の方法（アプリ・事業者任せ等）を決議

2：検討段階のポイント

電気自動車充電設備をつけようかなと思ったら
基本計画をつくりましょう



難しい

決めるべきこと

- How many 何基
- WHERE どこに
- How to どんな使い方で
- How much いくらくらいで（設置費・使用料）
- WHO 誰の負担で（設置費・使用料）
- WHEN いつまでに・どれくらいの時間数
- WHY どんな理由で
- WHY どんなルールで
- WHAT どんなものを
- WHO 誰が使えて

かんたん

2：検討段階のポイント

基本計画を作るのに不安だなと思ったら・・・

アドバイザー派遣を活用しましょう

マンションアドバイザー派遣

- マンション管理の専門家を派遣し、EV充電器の設置に関するアドバイスをを行います。
- 無料でご利用いただけます。気軽にご相談ください。

相談内容

- 補助金の内容
- 充電器の種類や設置工事の内容
- 設置にかかる住民の合意形成手続き
- 利用料金の徴収方法
- 消防法等の必要な手続き
- 他の設置事例 など

受付窓口

株式会社レクシード
〒186-0003 東京都国立市富士見台4-11-32 矢川ビル 2-C
MAIL:adviser@rexceed-kt.co.jp
TEL:042-505-9522 (平日9時~17時)



➤ [お申し込みはこちら](#)

[東京都マンションEV充電器情報ポータル](#) へ

概要、お申し込みはこちら



2：検討段階のポイント

基本計画を作るのに不安だなと思ったら・・・

導入調査経費補助 もあります

計画策定

【現地調査経費助成】（マンション充電設備普及促進事業）

- ▶ **現地調査や提案書・見積書作成に係る経費を助成**
- ▶ 実施事業者として登録された充電事業者へ依頼
- ▶ 設置案や費用を把握し、**合意形成**に活用
- ▶ **助成額：上限18万円/件**（同一年度内の複数利用は不可）

都の登録を受けた事業者の一覧等は
こちらのQRコードからご覧ください



2：検討段階のポイント

有料になってもいいから、伴走してほしい！

どんな会社があるの？

マンション充電設備
普及促進に向けた
連携協議会の参加会社
です。

充電事業者 参加事業者 (50音順) ※令和6年10月25日現在	
株式会社 e-Mobility Power	因幡電機産業株式会社
株式会社インストリーブ	株式会社エクシオテック
株式会社エスコ	ENECHANGE 株式会社
Eneliver 株式会社	株式会社株式会社遠藤電気通信
河村電器産業株式会社	九州電力株式会社
京電システムコンストラクション株式会社	極東開発パーキング株式会社
COCOPLUG 株式会社	株式会社ジゴワッツ
株式会社スマートパワーサービス	合同会社 DMM.com
Terra Charge 株式会社	東京ガス株式会社
東電タウンプランニング株式会社	株式会社ニッパツパーキングシステムズ
パナソニック株式会社エレクトリックワークス社	株式会社パワーエックス
東日本電信電話株式会社	pmi テック株式会社
株式会社ファム	株式会社フルタイムシステム
ユアスタンド株式会社	ユビ電株式会社
ラコーソリューションズ株式会社	Ring-ndx 株式会社
レジル株式会社	

2 : 検討段階のポイント 基本計画を作ろう

How many 何基？

1. 将来の次世代自動車の種類・台数割合から考える
2. 公平性・利便性から考える → 全区画か？
3. とりあえず ゼロ基 → 1基 設置を目指す

How many 何基？

1. 将来の次世代自動車の種類・割合から考える（都の2030年目標）

東京都では2030年の都内における**ZEVストックを乗用車全体の14%程度**と予測しております。

この予測を踏まえると、**駐車場の20%を目安に設置**をすることが目安になると考えられますが、各マンションの状況にもよると思いますので、状況に応じて検討されるのがよろしいかと思えます。ただし、電気自動車でない車両が充電設備の置かれた区画に駐車してもよいのか、電気自動車専用区画とするか等、運用上の工夫が必要です。

How many 何基？

2. 公平性・利便性から考える

POINT：全区画で充電設備にアクセスできるような運用

▶すべての住民が充電設備にアクセスできるので納得感を得やすいのが大きな利点です。充電設備を共有で利用する（終わったら移動するタイプ）のに比べ、運用面で負担が減るケースが多いです。

また、充電設備利用者にとっても他を気にせず利用しやすいという利点があります。

パターン① 全区画（1区画に1基）設置

- 全区画に設置するので、公平性がある
- 個人のマナーに頼らないで済む
- ×費用がかかる
- ×同時充電の台数に制限がかかることがある

パターン② 2区画で1基の充電設備

- 全区画設置に比べて、費用を抑えられる
- ×物理的に交代で使用する必要があるため個人的なマナーに頼る点が多い

2：検討段階のポイント 基本計画を作ろう

How many 何基？

3. まずゼロ→1基を目指してみる

POINT：共用利用を前提にスモールステップで1基設置してみる

▶マンションでのEV充電設備の需要を正確に見通すのは困難です。うまく補助金を活用しながら**まず1基設置してみるのも一つです。**

充電設備を設置することでマンション内のEV保有者が増えていくことも考えられます。

マンション内のEV普及率を見ながら将来的に設置基数を増やすことも可能です。

マンションの駐車場にEV充電設備が1台でもあれば住民の自動車購入の選択肢が広がります！

2：検討段階のポイント 基本計画を作ろう

WHERE どこに？

1. 契約者室に設置して、専用利用
2. 来客用駐車場に設置して、みんなで交代利用

How toにて

POINT

1. 建物（電気設備）から近い・遠い（遠いほど工事費が高い）
2. 防犯面・安全面（カメラ・照明・いたずらされにくい等）
3. 雨がかかり・非雨がかかり
4. 歩行者・利用者の安全確保